

国際リニアコライダー（I-LC）の実現を

岩手県I-LC推進協議会 会長 谷村邦久

(盛岡商工会議所会頭、岩手県商工会議所連合会会長)



1. 3月7日の文科省の表
明は確かな一歩

3月7日、文科省が、I-LCに関する研究機関の国際会議（ICFA/LCB）において、I-LC計画に関心を持って国際的な意見交換を継続する、との見解を表明いたしました。

同日夜、達増知事、鈴木県立大学学長と私は共同記者会見を行い、私から「I-LC計画がもたらす技術的研究の推進や立地地域への効果の可能性について明記されたことは、誘致実現への確かな一歩と考える。今後、新たな段階に進み国際的な議論がさらに進展することを期待する。」と発表いたしました。

2. 政府による国際間協議
等の進展

日本学術会議では現在、大型研究計画と重



3月7日 達増知事（中央）、鈴木学長（左）と記者会見に臨む谷村会長

点大型研究計画に関する「マスタープラン2020」の検討が進められており、来年1月頃に策定されます。

5月に、文科省との連携のもと国際ワーキンググループがKEK（高エネルギー加速器研究機構）に発足し、10月2日、建設費用、運転経費の国際分担に関する考え方、組織の在り方並びに残された技術的課題の国際分担について「I-LCプロジェクト実施に関する提言」として発表いたしました。

7月上旬には、河村建夫I-LC建設推進議員連盟（議連）会長が、超党派の国会議員をはじめ文科省、KEK、国内研究者を率いて訪欧し、既に設置されている、文科省と米エネルギー省（DOE）による日米ディスカッショングループと同レベルの政府間協議の場を、日仏・日独にも設置することが合意され

るなど大きな成果をあげました。KEKの提言によって政府間における国際的な経費分担や組織運営の議論が更に深まることを期待しております。

同じ7月中旬、保岩手県副知事と当推進協議会齋藤副会長ほか関係者12名がスイスのCERN（欧州原子核研究機構）、ドイツのDESY（ドイツ電子シンクロトロン）研究所を視察し、地元岩手の受入れ環境整備が順調に進んでいることを説明するとともに、研究所から生み出される先端技術の技術移転の仕事



独・DESY研究所にてHERA（粒子加速器）トンネルを見学

組みを勉強するために、当地のイノベーションセンターや企業を訪問してまいりました。

3. 東北が一体となって

6月12日、議連と自民党ILC誘致実現連絡協議会合同による幹部会が開催されました。

東北ILC推進協議会、北海道東北地方知事会、北海道・東北6県議会議員会、東北市長会の4団体から「日本政府が海外に対し、早期にILCの日本誘致に向けた、より明確な意思表明をされたい」との要



超党派議連・自民党ILC誘致実現連絡協議会合同幹部会に要望書を提出後の記念撮影

望書を提出いたしました。

出席者を列挙いたしますと河村会長、鈴木俊一副会長、塩谷幹事長のほか、細田博之議員、甘利明議員等、国会議員数十人。省庁横断での取組みを象徴して文科省のほか、内閣官房、内閣府、復興庁、外務省、経産省、外交省の幹部の方々。

岩手県から達増知事、佐々木県議会議長、谷藤盛岡市長ほか県南の市長、鈴木学長と私。宮城県からは副知事、県議会議長。また、KEK山内機構長等を含め総勢50名余りが出席いたしました。幹部会終了後、菅官房長官、文科省、復興庁、国交省を訪問し、菅官房長官からは「要望を真摯に受け止めたい。」との回答があり、東北の熱意は十分に伝わったと思います。

4. 「骨太の方針2019」に大型研究施設の戦略的推進が文に

前述の幹部会の席上、細田議員から、ILCを国家プロジェクトとして推進するためには骨太の方針に盛り込む必要がある、との提案があり、6月21日閣議決定された「骨太の方針2019」の中に「…世界の学術フロンティア等を先導する国際的なものを含む大型

研究施設の戦略的推進、…(中略)との文言が入りました。骨太の方針は政権が進める経済政策の基本方針であり、その中にこの文言が入ったことは、今後のILC実現への重要な足場になるものと理解しております。

5. オールジャパンへの広がり

ILC計画は素粒子物理学の世界計画として日米欧を中心に進めているものです。日米間の協力が進むなか、欧州では次の7年間の方針を定める「欧州素粒子物理学戦略」が来年5月に公表されます。実現のためにはパートナーとなる各国の政府の支持が必要であり、

日本政府のリーダーシップが重要です。そのためには何といても国民の大きな盛り上がりが必要です。

3月27日、ILC100人委員会(代表:増田寛也氏)のメンバーである「会長 島耕作」の作者、弘兼憲史先生が盛岡市で講演を行いました。9月20日には「会長 島耕作12巻」(ILC編)単行本が発売され、私はお会いする方々にこの本を差し上げ、ILCに対する更なる興味と理解を喚起しております。

10月15日にはILCサポーターズ(代表:映画監督押井守氏)の活動が再開され、キックオフ・イベントを東京大学で開催。ホームページやSNSを活用して、著名人参加による対



3月27日「会長 島耕作」作者弘兼憲史氏による講演会



「会長 島耕作」のうちわを作製、配付

談などを全国に拡散しております。また、国際会議LC WS(リニアコライダーワークシヨップ)が10月28日から仙台で開催されております。

す。3年前に盛岡でも開催されており、世界の研究者に対し、その後の受け入れ態勢の整備状況等を報告し、更なる地元の熱意を訴えます。

6. 今こそ政・産・学・官・民一体で国民運動を

安倍改造内閣が発足して間もない9月18日、県内9商工会議所会頭全員で、文科省、復興庁、中小企業庁を訪問し、復興とILC実現の要望をいたしました。9月26日には、西村康稔経済再生担当大臣が東北経済連合会との懇談会に来仙され、私からは、夢のあるILCの実現を強く訴えました。大臣からは「ILCのことは官邸でもよく話をしており総理はよく承知している。先立つものかどうか、皆で知恵を出し合いましょう」とのコメントをいただきました。

これまで私は数回にわたり「岩手経済研究『シリーズILCへの期待と課題』を通して、多くの皆様にILCの誘致・実現に向けて発信させていただきましたが、今こそ東北の政・産・学・官・民が一体となって活動をし、国民運動を広げる時です。

ILC実現を勝ち取るために、がんばりましょう!!

創業記念誌・社史づくりを
川口印刷工業がお手伝いします。

記念誌・社史以外にも、経営者伝、
実務書、自分史、追悼集、趣味の本など、
自費出版の編集制作を
お引き受けします。



北東北の暮らしをもっと楽しむために。
隔月刊(偶数月25日発売) 定価 713円
お求めは、青森・秋田・岩手の書店、コンビニで!



<http://www.kpj.co.jp/>
川口印刷工業株式会社

盛岡市羽場10地割1番地2 TEL.019-632-2211 FAX.019-632-2217
NETWORK 青森・八戸・秋田・北上・仙台・東京